

# 釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画を策定しました

～子どもたちの「強く生き抜く力」を育むために～

市教育委員会は、令和6年3月に策定された「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」を具現化するため、「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画策定委員会」（委員19人）を設置し、推進計画策定に向けた取り組みを進めてきました。

この度、令和7年9月30日の教育委員会会議での議決を経て「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」を策定しましたので、概要をお知らせします。

問い合わせ 市教育委員会 学校規模適正化推進室 ☎27-8496

## 統合計画

- 小学校は複式学級の解消に向けた取り組みを、中学校は教科の指導充実を図るため学校規模の確保に向けた取り組みを重点的に進めます。
- 中学校は、釜石中学校と釜石東中学校の2校体制とし、釜石東中学校と統合後の栗林小学校・鶴住居小学校で小中一貫教育を導入します。

## 【小学校】

学校名	理由	目標年度	使用校舎
栗林小と鶴住居小の統合	栗林小の複式学級の解消	令和9年度	鶴住居小
白山小と平田小の統合	白山小の複式学級の解消	令和9年度	平田小
釜石小と双葉小の統合	釜石小の複式学級の見込みの解消と、双葉小の1学級当たり15人未満の解消	令和13年度	釜石小または双葉小

## 【中学校】

学校名	理由	目標年度	使用校舎
唐丹中と釜石中の統合	唐丹中の複式学級の見込みの解消	令和11年度	釜石中
統合後の唐丹中・釜石中と甲子中、大平中の統合	9学級以上の確保	令和14年度	釜石中

## 【小中一貫校】

学校名	理由	目標年度	使用校舎
統合後の栗林小・鶴住居小と釜石東中で小中一貫教育を導入	小規模校のデメリットの最小化とメリットを最大に生かす教育の推進	令和12年度	鶴住居小 釜石東中

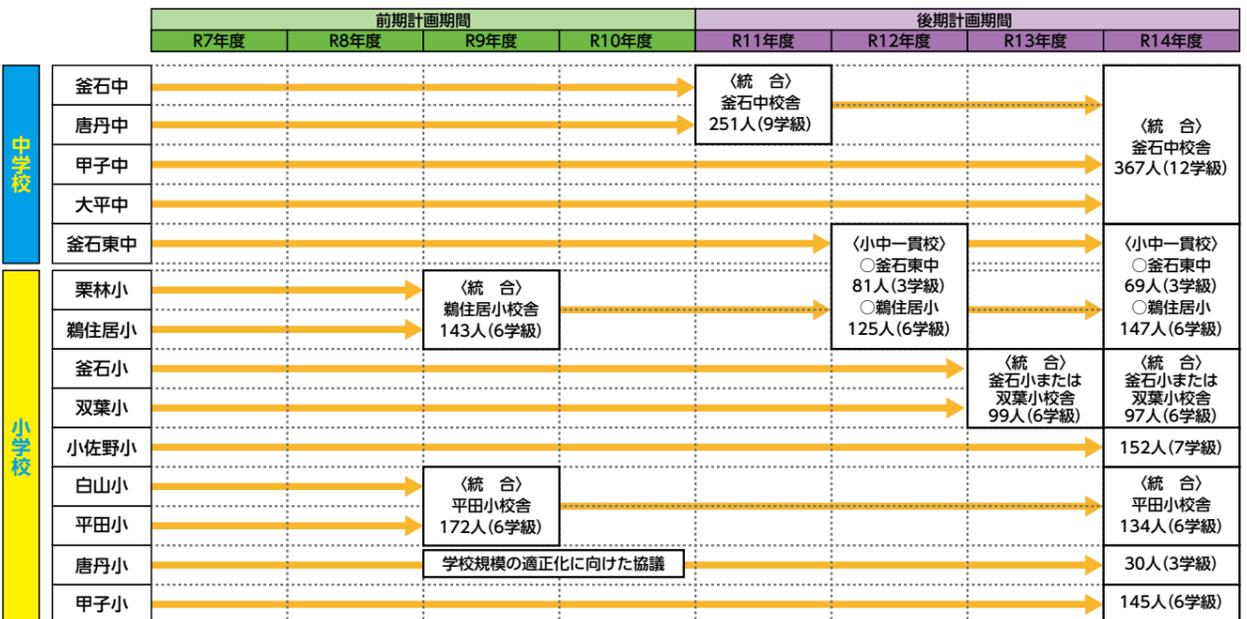
## ■その他の取り組み

- 複式学級を有する唐丹小学校は、基本方針の「当面は中学校区内に小学校を1校は存続することを基本とする」との方針により当面は存続させますが、令和10年度に行う後期計画の見直しと併せて、保護者および地域と協議を行います。
- 唐丹小学校は、今後も複式学級が見込まれるため、他校の児童生徒との交流活動や合同学習など、複式学級のデメリットを最小化する取り組みを行います。

## ■留意事項

- 学校統合に当たっては、保護者や地域の方々との合意形成を大切にしながら進めます。
- 児童生徒数の推移および保護者や地域の方々の要望などにより、必要と認められる場合は、適宜、統合の計画を見直すこととします。

## ■推進計画のスケジュール



**これまでの取り組み**

全国的に少子化が進行する中、本市においても児童生徒数の減少が続く。学校の小規模校化が進んでいます。

このことを踏まえ、市教育委員会は令和6年3月に「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」を策定しました。

基本方針に基づき推進計画の策定に向けて、昨年度から全7回の推進計画策定委員会での協議や学校、PTA、地域の皆さんとの意見交換、地域説明会、パブリックコメントなどを開催し、広く意見を聞きながら検討を重ねてきました。

この度策定した「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」は、学校規模の適正化・適正配置に取り組むための具体的計画を示したものです。

※釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画の全文は、市ホームページをご覧ください。



**釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画**

**■学校規模の適正化・適正配置の目的**

第三次釜石市教育大綱では、釜石市の教育の基本理念を「志と豊かな心を持って未来を拓く力を育む人づくり」としています。

この理念の下、本市の学校教育が目指す「強く生き抜く力」を育成するために、ある程度の学校規模が必要であるとの観点から、児童生徒の望ましい教育環境の整備を図ることを目的に行います。

**■計画期間**

令和7年度～14年度

令和10年度には、後期計画について見直しを行うこととします。

ただし、必要と認められる場合は、適宜計画を見直すこととします。

**■学校の適正規模・適正配置を具現化するための手法**

学校統合が有効な方策であると考え、原則、学校統合による学校規模の適正化・適正配置に取り組みます。

ただし、統合後の学校よりも、通学区域が隣接する学校に通学する方が望ましい場合などは、通学区域の変更も検討します。

**学校統合を進める上で配慮する事項**

● **通学手段・通学路の安全確保**  
遠距離通学となる児童生徒については、公共交通機関の運行状況なども考慮しながら、スクールバスの運行など通学手段の確保に努めます。

● **児童生徒への配慮**  
学校統合に伴う児童生徒の不安を軽減するため、学校統合までの間、関係する学校同士の交流活動などを計画的に実施します。統合後も学校生活の不安や悩みなどができるだけ解消するため、スクールカウンセラーや相談員の活用を図ります。

● **その他の配慮事項**  
①各校に受け継がれている伝統や特色ある教育活動の継承を検討します。  
②学童育成クラブのニーズに応じた利用定員の増員や場所の確保などを、関係部署と検討します。  
③廃校となった学校施設や敷地は、地域の状況に応じた利用や処分を、関係部署と検討します。

**学校規模の適正化・適正配置に関する地域説明会での質問・意見の一部を紹介します**

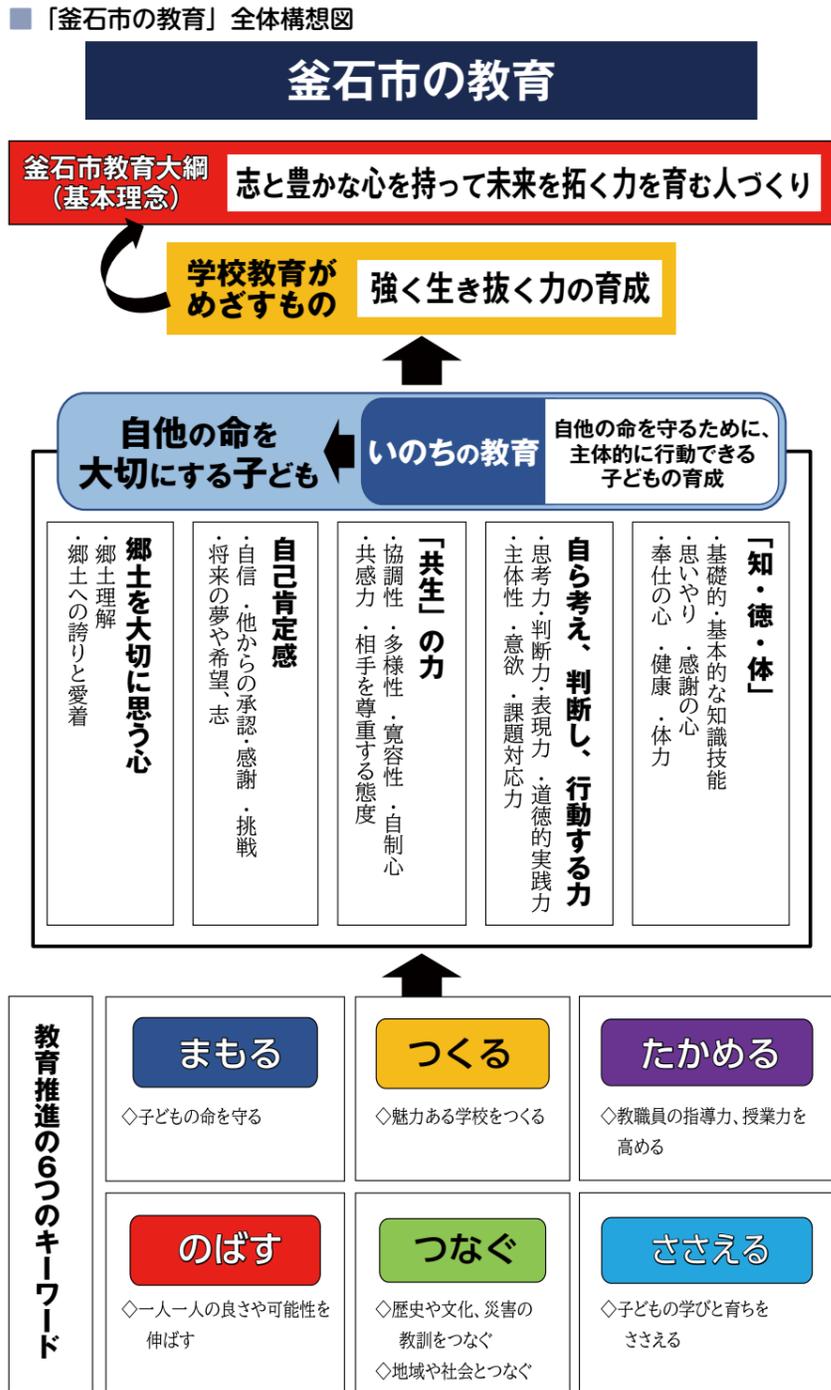
- 学校を統合した場合、いろいろな問題が出てくると思うので、子どものケアをしっかりとやってもらいたい。
- 統合した場合、制服、運動着などは統合前の学校のものを使用できるのか。金銭的負担がないようにしてほしい。
- 子どもたちが適正化について話し合える場を作ってほしい。
- スクールバスの下校時の運行時間について、何らかあると良いと思う。
- 統合は仕方ないが、学校統合と地域づくりを一緒に考えて、交流の場、活動の場といったものを作りつつ、統合を進めてほしい。
- 学校は拠点避難所としても利用されている。閉校後の跡地の利用はどうか。
- この統合はメリットがあるものだと思うが、自分の子が入学するころ、教育に希望が持てなければ転出も考える。計画がボジティブなものとして伝わる説明を工夫してほしい。

**今後の取り組み**

● **学校統合準備委員会(仮称)の設置**  
統合先を同じくする学校の教職員、PTA、地域コミュニティ組織などの関係者による学校統合準備委員会(仮称)を設置し、統合を進めるために必要な事項を検討します。

● **小中一貫教育導入に向けた取り組み**  
小中一貫教育を実施するためには、保護者や地域の皆さんと協議をしながら、どのような学校にするのかという構想を描き、教育活動の計画や運営上の仕組みの導入などさまざまな準備が必要です。小中連携教育に取り組みながら、小中一貫教育の導入に向けた準備を進めます。

市教育委員会は、保護者や地域、市民の皆さんとの対話を大切に、学校統合の当事者となる子どもたちの声も聞きながら、子どもたちの「強く生き抜く力」を育成するため、学校規模の適正化・適正配置に取り組んでいきます。



**～令和7年度第65回釜石・大槌地区小学校陸上記録会の中止について～**

9月17日(水)に開催予定の陸上記録会は、悪天候により会場のグラウンドコンディションの改善が見込めないことから、児童の安全を第一に考え、予備日の19日(金)も含めて中止としました。なお、各小学校では、保護者や地域の方々のご協力のもと、学校ごとの記録会を開催することができました。



双葉小学校



栗林小学校



釜石小学校

**高橋勝さんが教育長に再任 佐野茂樹さんが教育委員に再任**

高橋勝教育長と教育委員(教育長職務代理人)を務めていた佐野茂樹さんが、令和7年9月30日をもって任期満了となりました。

任期満了に伴い、釜石市議会9月定例会において議会の同意を得て、市長が10月1日付けで、高橋勝さんを教育長に任命しました(3期目)。また、佐野茂樹さんを教育委員に再任しました。



佐野 茂樹 委員

任期：  
令和7年10月1日  
～令和11年9月30日  
(2期目)



高橋 勝 教育長

任期：  
令和7年10月1日  
～令和10年9月30日  
(3期目)